

(I-1)

受検 番号	
----------	--

1※

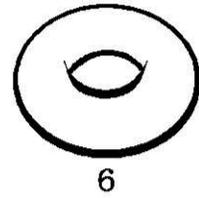
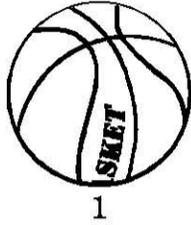
2※

※

ある日の放課後、小学校6年生のさとしさんとまゆみさんが教室で学習発表会のげきで使ったものの片づけをしていると、ボール、牛乳パック、コップ、コーヒーカップ、サイコロ、浮き輪がありました。

さとしさん こうしてみると、いろいろな形をしたものがあるね。でも、見た目は異なっているけど、ある部分に注目してみると同じような特ちょうがあるんだね。

まゆみさん そうね。同じような特ちょうがあるものをまとめてみましょうよ。

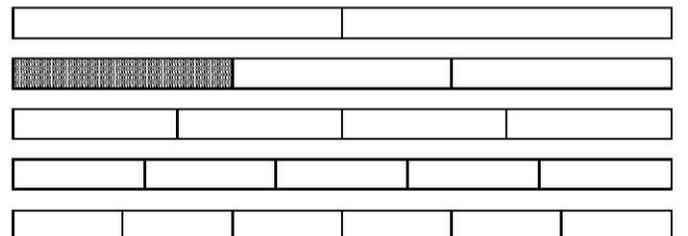


課題1 上の六つのもを、その形の特ちょうに目をつけて、二つのグループに、すべてを分けてみようと思います。あなたがグループ分けした結果を三つ書きましょう。また、それぞれについて、そのように分けた理由を書きましょう。グループ分けするときには、もの名前ではなくて、それぞれのものについている番号を書きましょう。

グループ分け	分けた理由
と	
と	
と	

片づけを続けていると、同じ長さに切り取った紙テープがたくさん出てきたので、この紙テープを使って教室にかざるはり絵を作ることになりました。

そのためにまず同じ長さの紙テープを、さらに2等分したもの、3等分したもの、4等分したもの、5等分したもの、6等分したもの、……とさまざまに切ったものを用意しました。



まゆみさん 紙テープを3等分したときの2枚分の長さのところに、それぞれの長さがちがう紙テープを組み合わせてはりたいわ。

さとしさん 紙テープを2等分したときの1枚分と、6等分したときの1枚分を組み合わせると、同じ長さができるよ。でも、それ以外にも、3等分したときの2枚分の長さと同じ長さになる組み合わせはできると思うよ。

課題2 それぞれの長さがちがう紙テープ何枚かを組み合わせて、3等分したときの2枚分の長さと同じ長さになるようにしたいと思います。その組み合わせを、四つ書きましょう。紙テープは何等分してもかまいません。ただし、同じ長さに切った紙テープは、一つの組み合わせの中では1枚しか使わないこととします。

受検 番号	
----------	--

片づけも終わり、さとしさんとまゆみさんは校門を出ました。学校の周囲も都市化が進み、新しく完成した道路を多くの自動車が通行しています。

 まゆみさん 道路の両側や中央には、これから植物が植えられるそうよ。きれいなお花がたくさん植えられたらいいな。

 さとしさん そうだね。だけど、こういう場所に植える植物は、見た目のきれいさだけでなく、もっといろいろな条件を考えて選ばなくちゃいけないと思うよ。

課題3 さとしさんの意見をもとにして、この道路の両側や中央に植える植物を選びたいと思います。あなたなら、どんな特ちょうをもった植物を選びますか。その植物の特ちょうを三つ書きましょう。また、それぞれについて、選んだ理由を書きましょう。

植物の特ちょう	選んだ理由

家に帰り、たまっていた新聞を片づけていたさとしさんは、日によって新聞に入っている広告用のチラシの枚数がちがうことに気づき、チラシについて調べることにしました。となりまちに住むおばあさんも、さとしさんと同じ新聞社の新聞をとっているので協力してもらいました。

さとしさんとおばあさんは、この日から四週間、新聞に入っているチラシを調べ、一週間あたりの平均枚数を、店の種類と曜日に分けて、右のような表にまとめてみました。表の上の段はさとしさんの家のもの、下の段はおばあさんの家のものです。

店の種類	曜日							計
	日	月	火	水	木	金	土	
スーパーマーケット	2	1	5	1	6	2	2	19
	2	1	6	2	7	2	3	23
電気製品販売店	0	0	0	0	0	0	2	2
	0	0	0	0	0	1	4	5
自動車販売店	1	0	0	0	0	0	5	6
	0	0	0	0	0	1	5	6
ホームセンター	0	0	0	2	2	0	0	4
	0	0	0	1	1	0	0	2
薬屋(ドラッグストア)	0	0	3	1	0	1	0	5
	0	0	2	1	0	0	0	3
住宅販売店	0	0	0	0	0	1	5	6
	0	0	0	0	1	2	6	9
その他	4	4	4	5	5	9	12	43
	8	10	7	8	8	10	14	65
計	7	5	12	9	13	13	26	85
	10	11	15	12	17	16	32	113

 さとしさん 見方をいろいろ変えてみると、たくさんの特ちょうがわかるな。

課題4 上の表に表れた結果の中で、あなたが気づいた特ちょうを三つ書きましょう。また、それぞれについて、なぜそのような結果が出たのかを予想し、あなたの考えを書きましょう。

気づいた特ちょう	予想したあなたの考え

【適性検査Ⅱ】

次の会話が一回読まれるのを聞いて、検査用紙の課題に答える。

(ナレーション) ある日曜日の午後、とおるさんと姉のなおみさんが話をしています。それぞれの発言内容を、メモを取りながら聞いて、あとの課題に答えましょう。

なおみ

とおる、何をしているの。

とおる

ああ、姉さん。今、宿題の漢字の書き取りをしていたんだ。どうも、ぼくは漢字を覚えるのが苦手で……。漢字は中国で生まれて、日本に伝えられたものなんだよね。漢字は、どうやって作られたのかなあ。

なおみ

漢字の成り立ちには四つの種類があるの。物の形からできたもの。物の形で表しにくいものを印などで表したものの。二つ以上の漢字の意味を組み合わせたもの。音を表わす部分と、意味を表わす部分を組み合わせたもの。この四つよ。

とおる

へえ。漢字の成り立ちにはいろいろあるんだ。例えば、どんな漢字があるの。

なおみ

一つめの例だと、体の一部である「耳」、川や海にすむ「魚」。二つめの例は、「上」や「下」という字。三つめの例は、山と石という字を組み合わせた「岩」や、口と鳥という字を組み合わせた「鳴く」などがあるわ。四つめは、さんずいに青という字を組み合わせた「清い」、よい天気を表す「晴れ」などの漢字があてはまるわね。どちらも青の部分を含んで、セイって読むでしょう。この部分が主に音を表していて、それぞれの「へん」が意味に関係しているのよ。漢字の数はとても多くて、ある辞典には約五万字もの漢字がのっているそうよ。もちろん、めったに使わない漢字も多くあるわ。

とおる

ところで、漢字は中国から伝えられたものだけれど、日本語の中にも外国でそのまま使われているものがたくさんあるね。「スシ」や「テンプラ」、「ジュウドウ」などは、そのまま外国で使っても通用するらしいよ。

なおみ

それらは全部、日本の食べ物やスポーツの名前ね。最近、そういった日本語のままでも通用する言葉以外にも、外国へ紹介されている言葉があったわ。確か、「もったいない」という言葉よ。

とおる

どういうこと。

なおみ

アフリカにあるケニアの環境副大臣、ワンガリ・マタイさんという方が来日されたときに、「もったいない」という言葉を知って、とても感動されたそうよ。今、世界中で環境問題に取り組んでいるけれど、その中で「もったいない」という言葉はゴミを減らして、資源を再利用・再利用をしようという運動にふさわしいって。「もったいない」は「むやみに捨てるのが惜しい」という意味だけれど、マタイさんは世界に広めようと、さまざまな活動の場で使っているそうよ。いつかこの言葉が、環境問題を考える合い言葉になって、世界中で通用するようになるかもしれないわ。

とおる

そうか。「もったいない」と環境問題が結びつくなんてすごいね。

なおみ

そうね。それに、それぞれの国の言葉はその国の人の生活や考え方と深く関係しているものよ。例えば、日本では雨を表す言葉がたくさんあるでしょう。梅雨のころに長く降る雨のことを五月雨きみぐさといったり、細かい雨を霧雨きりぐさと表現したりして季節や降り方によって使い分けるけれど、そんな使い分けをしない国もあるそうよ。雨を表す言葉が多いということは、日本人の季節感や雨に対する思いを表しているのかもしれないわね。

とおる

なるほど。言葉を知るとは、その国やその国の人の心などを知ることにつながるんだね。ぼく、漢字だけじゃなくて、いろいろな言葉についてもっと勉強してみよう。